

# 安 管 情 報

令和4年10月31日  
北海道安全運転管理者協会  
北海道安全運転管理者事業主会  
(事務局 011-241-3959)

## 鹿が関係する交通死亡事故の発生 (安全運転管理者選任事業所)

10月26日(水)午後4時44分ころ、川上郡標茶町の国道で、安全運転管理者選任事業所の車両が鹿と衝突後に対向車両と正面衝突し、男性2人が死亡、1人が意識不明となる痛ましい事故が発生しました。

速度を抑え、夜はハイビームを基本として鹿の飛び出しに注意しましょう。

鹿の習性を理解した運転

鹿との衝突事故は10～11月に多発！



### ① スピードを抑えめに

鹿の活動のピークは日の出と日没前後です。早朝、夕方は出没の機会が増えることに加え、周囲が暗く鹿に気付きにくいことから、スピードは抑えめに走行しましょう。

### ② 夜間の運転はハイビームを基本とする

夜間の走行時、車のヘッドライトが反射すると鹿の目が光ります。夜間の運転はハイビームを基本とし、光る物が見えたときは鹿の存在を疑いましょう。

### ③ 1頭だけとは限らない

鹿は群れで移動する習性があります。1頭の横断を見かけたら、2頭目以降が飛び出してくる可能性があるため特に注意しましょう。

### ④ 車が近づいても逃げないことがある

鹿は車のライトや走行音に反応して立ち止まることがあります。また、アスファルト上では蹄が滑って転んだり、逃げるのが遅れることがあります。鹿がいたら徐行運転に務めましょう。

### ◎ 日没前後に注意です！

日没前後にあたる18時から20時において発生が多く、全体の約30.3%にあたる1216件がこの時間帯に発生しています。

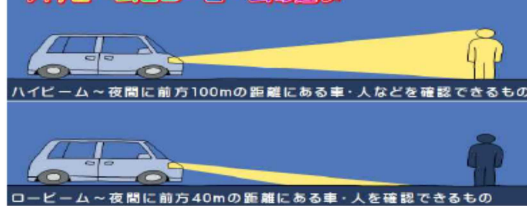
### ハイビームの活用！

日没以降は、周囲の見通しが悪くなるので、前車や対向車がない場合は、より遠くにある物を確認することができるハイビームを活用しましょう！

### 前方の安全確認の徹底！

鹿のほかキツネやタヌキなどは、山間部や郊外部に限らず、市街地や高速道路上にも出ることがありますので、スピードダウンのうえ、前をよく見て注意して走りましょう！

### ハイビームとロービームの違い



事業主・安全運転管理者の皆様へ

安管選任事業所の従業員が第一当事者となる交通死亡事故は、10月30日現在で22件23人発生しており、前年同期に比較して+6件+7人の増加となっています。

交通事故は、被害者ばかりか加害者側にも悲惨な結果をもたらします。事業主・安全運転管理者の皆様は、これからの時期特有な事故が繰り返し起こることがないように、マイカーの運転も含め、今一度、事故防止のご指導をお願い致します。